

11422P-00

中小企業診断士

中小企業  
診断士書籍

売上

NO.1

2025

年度版

最速合格  
のための

# 要点整理 ポケットブック

第1次試験

1日目

TAC中小企業診断士講座

試験直前までの復習に最適!

1次試験1日目の**経済学・経済政策、**

**財務・会計、企業経営理論、**

**運営管理**を収録

赤シート  
つき!

**TAC出版**  
TAC PUBLISHING Group

## はじめに

我が国の企業数の99%を占める中小企業は、機動性、柔軟性、創造性を発揮し、「我が国経済のダイナミズムの源泉」として積極的な役割を担うことが期待される存在として位置づけられています。こうした位置づけとなっている中小企業が経営革新など新たな取り組みを積極的に行うためには、中小企業が不足する経営資源を確保できるよう、国が支援することが重要です。その環境整備のひとつとして、①民間経営コンサルタントとして、中小企業を全社的視点で経営について診断・助言する能力、②中小企業の利益の最大化のために、行政・専門家との橋渡し役となる能力を、国が認定するために設けられているのが中小企業診断士制度です。そして現在、国は中小企業診断士の総数の拡大に努めています。

このような時代の流れに対応すべくTAC出版では、中小企業診断士試験の受験対策書籍としてさまざまなアイテムを刊行しております。

その中の本書「最速合格のための要点整理ポケットブック」には、次のような特長があります。

- ① 第1次試験合格に必要な重要論点を広く網羅しつつ、内容が簡潔にまとまっていること
- ② 通勤途中での学習等を考慮して、持ち運びやすいコンパクトなものに仕上がっていること
- ③ 付属の赤シートを使うことにより、重要キーワードの暗記がスムーズに行えること

受験生の皆様にとって、本書が効率よい学習のお役に立てれば幸いです。

2024年12月  
TAC中小企業診断士講座  
講師室、事務局スタッフ一同

## 目 次

<b>経済学・経済政策</b>	
第1章 企業行動の分析	2
第2章 消費者行動の分析	8
第3章 市場均衡と厚生分析	18
第4章 不完全競争	25
第5章 市場の失敗と政府の役割	30
第6章 国民経済計算と主要経済指標	34
第7章 生産物市場（財市場）の分析	39
第8章 貨幣市場とIS-LM分析	46
第9章 雇用と物価水準	55
第10章 消費、投資、金融政策に関する理論	62
第11章 国際マクロ経済	65
第12章 景気循環と経済成長	66

<b>財務・会計</b>	
第1章 財務・会計とは	70
第2章 財務諸表概論	72
第3章 経営分析	78
第4章 管理会計	85
第5章 意思決定会計（投資の経済性計算）	92
第6章 ファイナンスⅠ（企業財務論）	96
第7章 ファイナンスⅡ（証券投資論）	104
第8章 貸借対照表および損益計算書の作成プロセス	111
第9章 キャッシュフロー計算書の作成プロセス	126
第10章 原価計算	128
第11章 会計規則	131

<b>企業経営理論</b>	
第1編 経営戦略	138
第1章 企業活動と経営戦略の全体概要	138
第2章 事業戦略（競争戦略）	140
第3章 企業戦略（成長戦略）	145
第4章 技術経営	153

第5章 企業の社会的責任（CSR）とコーポレート ガバナンス	156
第2編 組織論	158
第1章 組織構造論	158
第2章 組織行動論	168
第3章 人的資源管理	177
第3編 マーケティング	192
第1章 マーケティングの基礎概念	192
第2章 マーケティングマネジメント戦略の展開	193
第3章 マーケティングリサーチ	198
第4章 消費者購買行動と組織購買行動	199
第5章 製品戦略	201
第6章 価格戦略	208
第7章 チャネル・物流戦略	209
第8章 プロモーション戦略	212
第9章 関係性マーケティングとデジタルマーケティング	215

## 運営管理 .....

第1編 生産管理	220
第1章 生産管理概論	220
第2章 生産のプランニング	222
第3章 生産のオペレーション	233
第4章 生産情報システム	247
第2編 店舗・販売管理	250
第1章 店舗・商業集積	250
第2章 商品仕入・販売（マーチャンダイジング）	253
第3章 物流・輸配送管理	260
第4章 販売流通情報システム	263





# 経済学・経済政策

---

## 第1章 企業行動の分析

### ① ▶ 費用関数.....

#### ■費用の分類

##### ① 可変費用と固定費用

**可変費用**：生産量に依存し、変化する費用

**固定費用**：生産量に依存しない費用

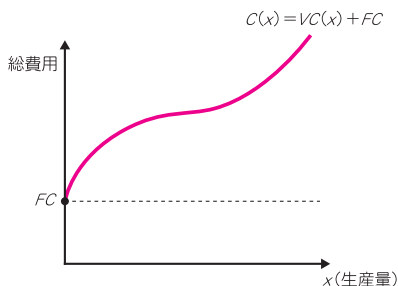
##### ② **サunkコスト**

回収不可能な固定費用のこと（埋没費用）

#### ■費用関数の形状

総費用＝可変費用＋固定費用

<費用関数（曲線）>



### ② ▶ 費用に関する諸概念.....

#### ■平均費用

##### ① 平均費用の定義

生産物1単位あたりの費用（**総費用**を生産量で割ったものに等しい）

##### ② 規模の経済の定義

生産量の増加とともに平均費用が減少すること

## ■平均可変費用

### ① 平均可変費用の定義

生産物 1 単位あたりの可変費用（**可変費用**を生産量で割ったものに等しい）

### ② 平均費用と平均可変費用の関係

- 平均費用  $>$  平均可変費用
- 平均費用を最小化する生産量  $>$  平均可変費用を最小化する生産量

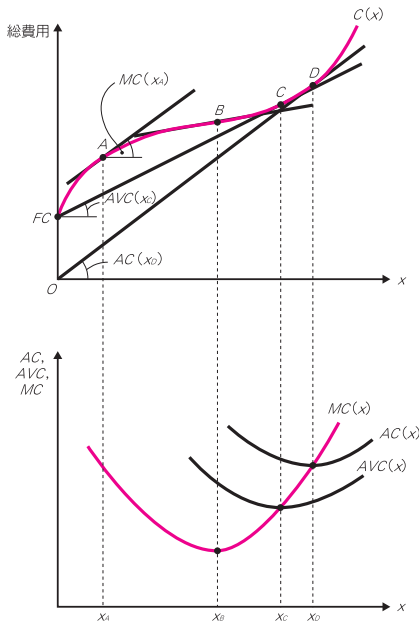
## ■限界費用

### ① 限界費用の定義

生産量を 1 単位増加させたときに追加的に発生する費用

### ② 平均費用、平均可変費用と限界費用の関係

**限界費用**曲線は、**平均費用**曲線、**平均可変費用**曲線の最低点を通る。



### ③▶ 利潤最大化行動.....

#### ■ 価格受容者（プライステイカー）

自らの行動が市場価格に影響を与えず、市場で決まる価格を受け入れるしかない経済主体

- **完全競争市場**：すべての参加者が価格受容者であるような市場
- **（完全）競争企業**：価格受容者である企業

#### ■ 利潤最大化

##### <利潤最大化条件>

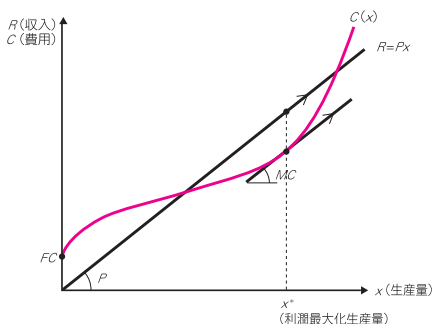
競争企業の利潤最大化条件 → 「**価格＝限界費用**」となるように生産量を決める。

##### ① 論理的な解説

1 単位生産増加の追加的収入額 > 追加的費用額 → 生産増により利潤拡大

1 単位生産減少の収入減少額 < 費用減少額 → 生産減により利潤拡大

##### ② 図による解説

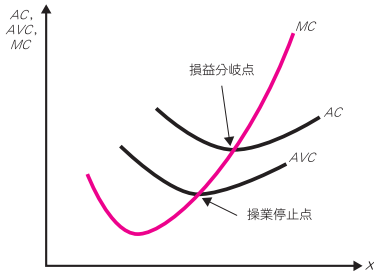


#### ■ 損益分岐点と操業停止点

##### <定義>

**損益分岐点**：利潤がゼロに等しくなる点 = **平均費用**の最小点

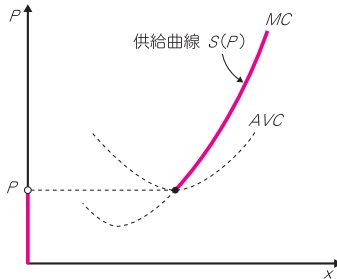
**操業停止点**：生産活動をやめてしまう点 = **平均可変費用**の最小点



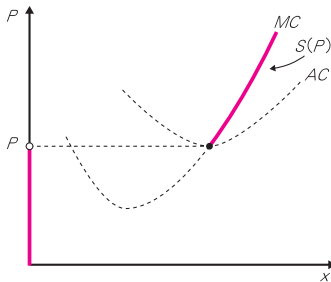
#### ④ ▶ 供給関数

##### ■ 供給関数

すでに産業に参入している企業 ➡ 限界費用曲線の**操業停止点**より上の部分



新たに参入しようとしている企業 ➡ 限界費用曲線の**損益分岐点**より上の部分



## ■供給の価格弾力性

### <供給の価格弾力性>

**価格 (P)** が 1 % 上昇したときに **供給量 (S)** が何% 変化するかを表す指標。

$$\text{供給の価格弾力性} = \frac{\text{供給量の変化率}}{\text{価格の変化率}} = \frac{\frac{\Delta S}{S}}{\frac{\Delta P}{P}}$$

## ⑤ ▶ 課税の効果.....

### ■課税の種類

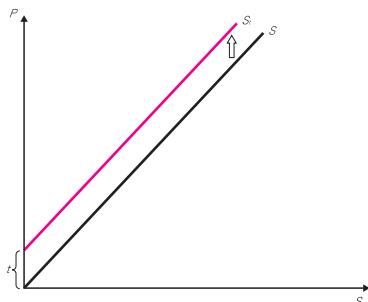
**従量税**.....生産物 1 単位あたりにいくら支払うという税

**従価税**.....価格の何%かを支払うという税

**定額税**.....生産量、価格とは無関係に定額だけ支払う税

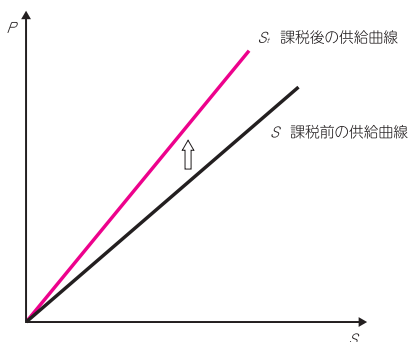
### ■従量税の効果

従量税を  $t$  とすると、平均費用、限界費用はそれぞれ  $t$  だけ上昇し、供給曲線も  $t$  だけ上方にシフトする。



## ■従価税の効果

税率 $t$ の従価税が課せられたとすると、課税前の供給曲線を上方へ $(1+t)$ 倍シフトしたことになる。(供給曲線の傾きが大きくなる)



## ⑥▶生産関数によるアプローチ.....

### ■生産関数

**生産要素**.....生産活動に必要な要素

**生産関数**.....生産要素の投入量と生産量の関係を表す関数

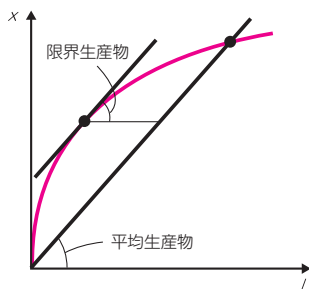
#### ① 平均生産物

生産要素1単位あたりの生産量 ➡ 原点と生産関数上の点を結んだ直線の傾き

#### ② 限界生産物

生産要素の投入量を1単位増加させたとき増加する生産量 ➡ 生産関数への接線の傾き





### ③ 利潤最大化条件

生産関数における利潤最大化条件 → 「**限界生産物価値 = 要素価格**」となるように生産量を決める。

**限界生産物価値**……生産要素の投入量を1単位増加させたときの収入の増加分

**要素価格**……生産要素を1単位増加させたときの費用の増加分

## 第2章 消費者行動の分析

### ① ▶ 効用関数

#### ■効用と選好

**効用** (utility) : 財を消費することから得られる満足度

**選好** (preference) : 人々の好みのこと

#### ■効用関数

##### ① **効用関数** (utility function)

消費量の組合せからどれだけの効用（満足度）を得ることができるかを表す関数

$$U = U(x, y)$$

##### ② **限界効用** (marginal utility : $MU_x$ )

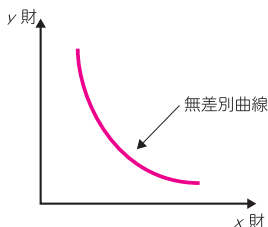
他の財の消費量を一定に保ったうえで、 $x$ 財の消費量を1単位増加

させたときに上昇する効用の大きさ

## ■無差別曲線

### ① 無差別曲線 (indifference curve)

同じ効用水準を得られるような消費量の組合せを結んだ曲線



### ② 形状

#### ●単調性

2財のうち一方の財の消費量が増加し、他方の財の消費量が変化しない場合に、新しい財の組合せの効用の方が、それまでの財の組合せの効用よりも高くなること

- 単調性が成り立っているケースでは右下がり（両方の財とも消費量が多いほど効用が高くなる）

### ③ 特徴

- 無差別曲線は交わらない。

## ■限界代替率

### ① x財のy財に対する**限界代替率** (marginal rate of substitution : $MRS_{xy}$ )

x財を1単位減少させたとき、効用水準を一定に保つために必要なy財の消費の増加量。

### ② 特徴

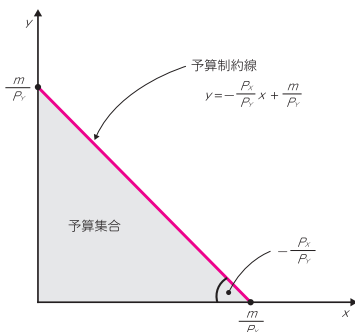
- 限界代替率 = **無差別曲線**への接線の傾き（の絶対値）
- 無差別曲線が原点に対して凸 → 限界代替率**逡減**

## ②▶ 予算制約

### ■ 予算制約線と予算集合

**予算集合**：予算制約のもとで購入可能な2財の消費量の組合せの集合

**予算制約線**：すべての所得を余すところなく使い切った場合に購入できる2財の消費量の組合せ



### < 予算制約線のシフト >

- $x$ 財の価格上昇の効果：傾きはより**急**になり、 $x$ 軸切片は**小さ**くなる。
- $y$ 財の価格上昇の効果：傾きはより**緩やか**になり、 $y$ 軸切片は**小さ**くなる。
- 所得 ( $m$ ) の上昇の効果：傾きは変わらず、 $x$ 軸切片、 $y$ 軸切片が**大**きくなる。

中小企業診断士 2025年度版

最速合格のための要点整理ポケットブック 第1次試験 1日目

発行日 2025年1月22日

初版発行

編著者 TAC株式会社（中小企業診断士講座）

発行者 多田敏男

発行所 TAC株式会社 出版事業部（TAC出版）

〒101-8383 東京都千代田区神田三崎町3-2-18

電話（営業） 03-5276-9492

FAX 03-5276-9674

<https://bookstore.tac-school.co.jp/>

© TAC 2025

管理コード 11422P-00

〈ご注意〉

本書は、「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。本書の全部または一部につき、無断で複製（コピー）、転載、改ざん、公衆送信（ホームページなどに掲載すること（送信可能化）を含む）されると、著作権等の権利侵害となります。上記のような使い方をされる場合、および本書を使用して講義・セミナー等を実施する場合には、小社宛許諾を求めてください。